

登録コード	E7182100	開講年度	2026			
授業科目	現代教育ゼミナール				担当教員	水口 崇
英文授業名	First Year Seminars				副担当	徳井 厚子
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生
講義室	共通教育 4 0 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	現代教育コースは、4つのユニットがある。それらは、 教育実践科学ユニット、 異文化間教育ユニット、 ICT活用教育ユニット、 発達・教育心理ユニットである。これらのユニットの教員が、それぞれの専門手的見地から、現代の教育の問題について講義する。					
(5)授業計画	第1回 情報セキュリティガイダンス等（全体） 第2回 ガイダンス（水口・徳井） 第3回 こころの健康・大学生活のリスク対策（全体） 第4回 図書館ガイダンス（森下） 第5回 学ぶことの哲学（高柳） 第6回 社会が大学生に期待すること（越智） 第7回 キャリアを考える―大学生版進路指導―（安達） 第8回 伝わるレポートの書き方（島田） 第9回 健康な心の作り方（三和） 第10回 レポートで用いる表現 - 話し言葉とどう違うの？ - （徳井） 第11回 学問って役に立つの？―心理学の場合―（水口） 第12回 大学生版コミュニケーション術（小池） 第13回 情報活用術（佐藤） 第14回 リフレクション（水口）【授業アンケートの実施】					
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業中の小レポートにより、みずからが考え、自己啓発に努めることができるかをはかる（40％）。 ・計2回の中レポートにより、授業を通して考えたこと、気づいたことについて問う（60％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。					
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mizutaka@shinshu-u.ac.jp （水口崇） tokuias@shinshu-u.ac.jp（徳井先生）					
【教科書】	特に無し					
【参考文献】	適宜紹介する					